

(1) 講話【「いいじいちゃん、いいばあちゃんに…」】

いよいよ師走となりまして、1年が終わろうとしています。私も歳のせいか、1年を振り返るだけではなく、なぜか昔の事をふと思い出す事が多くなった気がします。

今日は、私が高校3年生の時、担任の先生からいただいた言葉を紹介します。

先生は社会科の先生でしたが、よく授業を脱線する方で、いろんな分野の話や知らない世界の話をして下さっていたので、私はその時間がとても好きで、先生が授業を脱線すると、とてもワクワクしながら聴いたものです。しかし、当時、大学受験を控えた教室内の空気はピリピリしたもので、そんな中でも先生は普段通りに脱線した話をなさっていました。ある日のお話。

「お前たち、いいか、大学受験に向けて懸命にがんばっていく事は大事な事だ。そしてやがて、いい会社への就職を目指すんだと思う。それはそれで大事な事だからぜひがんばって取り組んで欲しい。けどな、お前らな、オレは将来お前らには、**「いいじいちゃん、いいばあちゃんを目指して欲しい。」**って思うんだよなあ…。」

教室はシーンとしていました。「**「何で今その話？」**」という空気になったのが分かりました。けれども先生はひるむ事なく続けました。

「いや、何でこんな話をするのかって言うとな、オレの隣りの家に80代のじいさんが一人で住んでいるんだよな。その家には縁側があってさ、我が家から見えるんだよ。そのじいさんは朝早くからその縁側の所に毎日ボーっと座っているんだよ。するとな、何時頃から近所の人とか友だちらしき人たちが集まってくるんだよ、しかも毎日。ワイワイ楽しそうにしているんだよな。このじいさんの所に、何でそんなに人が集まってくると思う？じいさんは、何かの先生でもなければ、地位とか名誉とか財産とか、目立った何かを持っている訳じゃないんだよな。民生委員をしたとか、特に社会の役割を担った事もないそうなんだよ。農業一筋に来た人なんだよ。じゃあ、**何でじいさんの所に人が集まるのか？**」

それはなあ、**人間性なんだよ。人徳なんだよ。**年を取っていくとな、いずれ人は、地位とか名誉とかそういうものには寄ってこない。**人徳ある人の傍に寄っていきたくなるもんなんだよ。**いいかあ、**「いいじいちゃん、いいばあちゃんに成ってくれよな、以上だ。」**

笑顔の先生。一方で静まり返る教室。大学受験前の18歳ですから仕方無いのですが、先生、本当に大切な事を伝えて下さったなあと思います。

私たちの日常でも、ホッとする雰囲気の人が傍にいと、それだけで癒される事があります。たった一人でもいいから、お年寄りたちとの出会いが、そのような関係でありますように。

『お世話する者とされる者という関係ではなく、むしろお年寄りから何かを学ぶという職員、そんな関係でありたい。』〔光寿会目的『「生きる意味」を発見し合える道場にしよう』より〕

(2) 連絡事項について

〔講話+①=理事長〕

- ① 今月の行事予定ですが、15日(月)に『光寿苑のお年寄りを護る会』が午後からあります。コロナ禍で、しばらく面会室での面会対応で実施してきましたが、今回より、以前行っていた苑内のラウンド方式で実施する予定です。護る会の委員さんたちが各担当ユニットを回って自由に拝聴致します。ベッド上でも、離床していてもどちらでも構いません。時には、「〇〇さんはどちらですか？」など聴かれると思いますので、ご対応お願い致します。
- 17日(水)の午後からは『防災総合訓練』があります。消防署の立会いなしでの訓練となります。詳細は、防火管理者より後日お知らせがありますのでお待ち下さい。